

## 最近の知床海域の状況についての話題

- ・ 第 1 回の海域 WG 会合では、根室海峡におけるスケトウダラ資源の 2013 年度までの状況を報告した。
  - ・ 今回は、知床海域における今年度の漁海況とトピックについて紹介する。
- 海況
- ・ 水産技術普及指導所からの情報では、2014 年のオホーツク海沿岸の水温は 6 月までは例年より低かったが、7 月～8 月は高めに推移した。
  - ・ 根室海峡では、年間を通じて平年並みから低めに推移した。羅臼町では、沿岸に居座った流水の影響で、3 月～7 月まで低水温の状態が続いた。
- 漁況（スケトウダラ）
- ・ 根室海峡におけるスケトウダラの漁獲量は、2011 年度に 19 千トンに急増した後、2012 年度に 14 千トン、2013 年度は 8 千トンで減少が続いた。
  - ・ 羅臼町では、2011 年度の 11 千トンから 2012 年度に 9 千トン、2013 年度は 7 千トンと、減少が続いた。2014 年度は、1 月までで 4 千トンにとどまり、前々年度同期（8 千トン）、前年度同期（6 千トン）を下回った。
- 漁況（その他）
- ・ 全道的にホッケの漁獲量が減少傾向にあるが、羅臼町では 2009～2010 年の 8 千トンから 2011～2013 年は 3 千トン前後に減少した。2014 年はさらに下回る見込みである。
  - ・ 根室海峡のスルメイカ漁獲量は 2010～2013 年は 13～24 千トンで変動していたが、2014 年は前年（22 千トン）から半減し、10 千トンであった。
- トピック
- ・ 根室海峡の定置網では、ブリが例年よりも早くから漁獲され、漁獲量も多かった。